

(仮称)岡崎げんき館市民フォーラム

- 開催記録 -

平成17年2月20日

(仮称)岡崎げんき館市民会議

(1) プログラム

(仮称)岡崎げんき館市民フォーラム

日 時：平成 17 年 2 月 20 日(日)

場 所：岡崎市 若宮庁舎 3階 大会議室

主 催：岡崎市 共催：(仮称)岡崎げんき館市民会議

*** プ ロ グ ラ ム ***

13:30 開 会

あいさつ

13:35 ~ **基調講演** 「生涯現役の推進方法について」

東京都立大学大学院都市科学研究科教授 星 旦二氏

14:50 ~ **市民会議の提案発表**

(仮称)岡崎げんき館市民会議 荒井 俊裕氏

15:05 ~ **意見交換会**

テーマ：「市民と(仮称)岡崎げんき館」

グループ代表者 荒井 俊裕氏(保健サービスグループ)
近藤 恵子氏(健康づくり運動・休養チーム)
小島 千佳氏(健康づくり栄養チーム)
富田 博 氏(子ども育成グループ)
渡辺 武治氏(市民交流グループ)
植野 誓子氏(市民交流グループ)
進行役 岩田 晴義氏(ランドブレイン株式会社)

16:15 ~ 閉会のあいさつ

閉 会

星 旦二(ほし たんじ)氏 プロフィール

(主な経歴)

- 1950年 福島県南会津郡田島町生まれ
- 1978年 福島県立医科大学卒業
- 1987年 医学博士(東京大学 医博第8461号)
- 1997年 英国ロンドン大学・熱帯医学公衆衛生大学院留学
- 1999年 4月 東京都立大学大学院都市科学研究科 教授

(学会における活動)

日本公衆衛生学会会員、日本衛生学会会員、日本結核病学会会員、日本がん疫学研究会委員、日本健康教育学会会員(理事)、日本社会医学学会会員、自治体学会会員、日本疫学学会会員、日本老年医学会会員、世界健康教育学会会員、アメリカ合衆国保健医療学会会員

(社会における主な活動)

- 東京都健康づくり都民会議企画調査部会委員(委員長代行 1997-1999)
- 厚生省健康日本21計画策定検討委員会委員(1999-2000)
- 栃木県岩舟町第二期いきいき岩舟推進プラン策定事業推進委員(1999-)
- 第四次多摩市総合計画審議会委員長(1999-)
- 経済産業省・健康サ・ビス産業創造委員会委員(2003)

(専門)

公衆衛生学、健康政策学、予防医学

(研究課題)

生涯現役研究、健康規定要因に関する研究、生活習慣と健康に関する研究をしている。

(最近の研究課題)

都市の健康特性、都市の健康政策、保健医療福祉政策



(仮称)岡崎げんき館とは…

「(仮称)岡崎げんき館」は、市立岡崎病院跡地に、平成20年3月開館予定の市民の健康な生活をサポートする複合施設です。

「元気と活力を創造する拠点づくり」を整備目標とし、「健康」、「交流」、「にぎわい」の創造を基本テーマとして、施設は、保健衛生施設、健康づくり支援施設、子ども育成支援施設、市民交流施設で構成されています。



これまでの取組み

平成14年度

- ・「(仮称)岡崎げんき館」整備基本構想の策定

平成15年度

- ・市民ワークショップの開催
- ・事業化の可能性の検討
- ・「(仮称)岡崎げんき館」整備基本計画の策定
- ・「(仮称)岡崎げんき館」シンポジウムの開催

平成16年度

- ・「(仮称)岡崎げんき館」整備の事業化手続き
- ・「(仮称)岡崎げんき館」市民会議の開催(NPO等の市民活動団体が「(仮称)岡崎げんき館」での運営業務への参画の具体的な検討)

市民会議とは…

平成20年3月に開館する「(仮称)岡崎げんき館」において、市民の健康づくり、子どもの育成、市民交流のサポートを行っていくため、健康づくりリーダー、管理栄養士、医師、保健師等の団体・個人が参画して、平成16年7月に設置(同年10月岡崎市へ登録)

詳しい情報は、岡崎市のホームページでご覧いただけます。

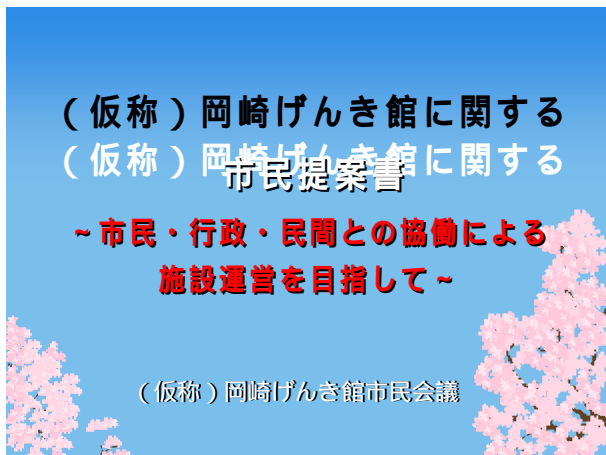
(仮称)岡崎げんき館ホームページアドレス

<http://www.city.okazaki.aichi.jp/yakusho/ka5075/ka701.htm>

おかざき市民活動情報広場ホームページアドレス

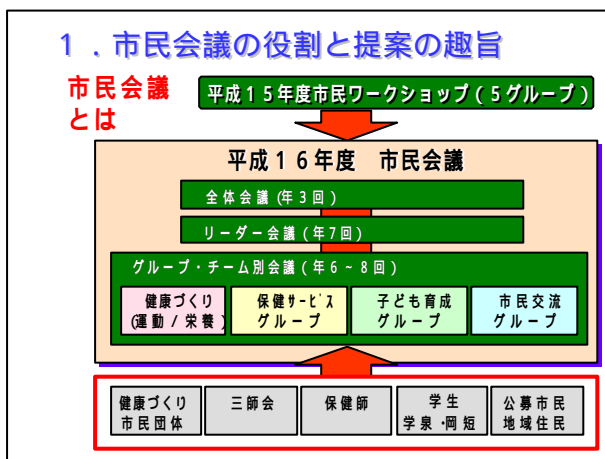
<http://genki365.net/gnko/customer/okazaki/index.php>

(2) 市民提案書 (別冊、市民提案書参照)



提案内容の構成

1. 岡崎げんき館市民会議の役割と提案の趣旨
2. 岡崎げんき館がめざすもの
3. 岡崎げんき館が果たすべき機能・サービス
4. 重点事業の提案
5. 市民・行政・民間事業者の役割
6. 施設開館に向けてのアクションプログラム



市民会議の役割と提案の趣旨

市民会議の役割とは

岡崎げんき館の施設整備・運営のあり方を提案
市民活動団体としてげんき館の運営に参画
健康づくりや市民交流などの事業を企画・実施

提案の趣旨としては

PFIによる岡崎げんき館整備運営事業に市民の意見を反映
運営参画する市民活動団体等が展開する運営事業(げんき館事業)を提案

市民フォーラムは

市民同士の意見交換の場
げんき館に対する市民相互の共通理解の場

2. 岡崎げんき館がめざすもの

基本コンセプト

笑顔でげんきの輪を広げよう
岡崎げんき館

子どもからお年寄りまでが、
楽しく健康づくりができる拠点
健やかな子どもを育成する拠点
市民の交流活動の拠点

テーマごとの目標

| | |
|----|--|
| 健康 | 健康のことなら何でもわかる情報の発信 健康づくりのはじめの一步「きっかけづくり」 一人ひとりの目標に合った心と体の健康づくり 心身ともに健康で創造性豊かな子どもの育成 |
| 交流 | 子ども同士や親同士、親と子のふれあい 子どもと高齢者の世代を超えたふれあい 市民相互のふれあい 地域とのふれあい |
| 賑い | 多くの市民が気軽に立ち寄れる施設 多くの市民が気軽に立ち寄れる施設 楽しみながら健康づくりができる施設 健康をテーマとしたまちづくりと地域の活性化 |

3. げんき館が果たすべき機能・サービス

| | |
|-----------------|--|
| 保健サービス機能 | 健康に関する総合情報発信 |
| 健康づくり機能 | 健康チェック 運動サポート リラクゼーションサポート 栄養サポート |
| 子ども育成機能 | げんき広場 気になる子どものサポート |
| 市民交流機能 | 健康づくりイベント 健康づくりイベント 市民交流活動のサポート 集客・にぎわいサービス |

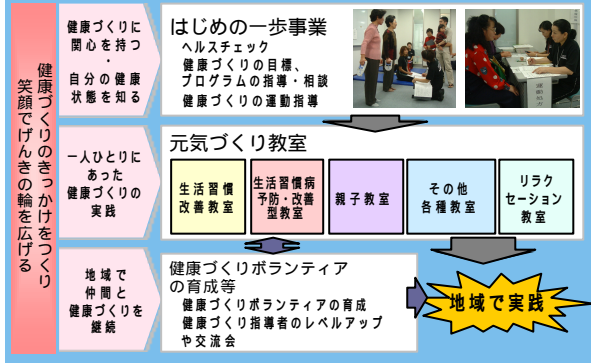
4. 重点事業の提案 **保健サービスグループ**

提案 げんき館に来れば、健康について何でもわかる！
「健康に関する総合情報発信」

サービスの内容 健康に関する正しい知識
岡崎市をはじめとする、健康に関する問題や現状
疾病予防のための教室や活動の紹介や相談

実施方法等 見て、触って、考えて、展示体験！
一般向けの教室や講演、相談をげんき館で一元的に実施！
教室や相談を知ってもらうために、わかりやすい案内！
パソコンによる気軽でわかりやすい情報の提供！
いつでも新しい講演会をストック・視聴可能に！
子どもにもわかりやすく！教室と展示の連携！ など

4. 重点事業の提案 **健康づくり運動・休養チーム**



4. 重点事業の提案 **健康づくり栄養チーム**

提案 “栄養に関心のない人”へのきつかけづくり
“少し関心を持った人”への栄養サポート

栄養に関心を持つきつかけとなるイベント開催

目的 : きつかけづくり
主な対象 : 若年層、親子 など
内容 : YES・NO方式の栄養診断、栄養お話のワークラリー、さかな当てクイズ、1日に必要な野菜採り取りイベント など

ニーズにあった多彩な教室・講座

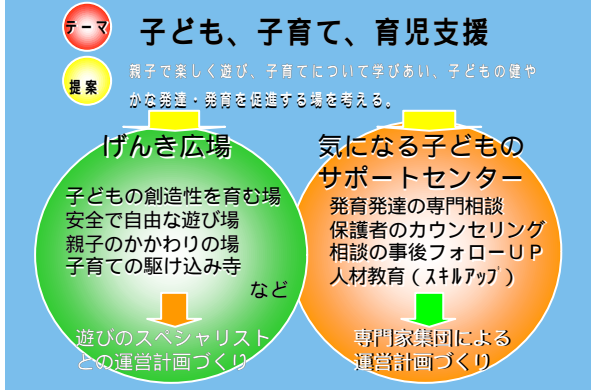
目的 : きつかけづくりと栄養サポート
主な対象 : 親子、若年層、肥満者、妊婦、高齢者など
内容 : お食事会+栄養のお話(高齢者個食対応)、正しいダイエット講座(やせすぎの若者)、食事と運動講座 など

気軽に受けられたいめになる栄養診断・相談

目的 : きつかけづくりと栄養サポート
主な対象 : 中高生、成人を中心とする全市民 など
内容 : おやつを囲んでグループワーク、学校における食育講座、自分の体に大切なものを知ろう など

情報提供

4. 重点事業の提案 **子ども育成グループ**



4. 重点事業の提案 **市民交流グループ**

提案 常時の「にぎわい」創出のため、市民交流イベントや教室・講座などの開催や集客の仕掛けを提案。

岡崎げんきまつり 商店街にぎわい創出事業

(仮称)岡崎げんき館に来るきつかけの提供
(仮称)岡崎げんき館のPR健康づくりの市民活動イベントの場

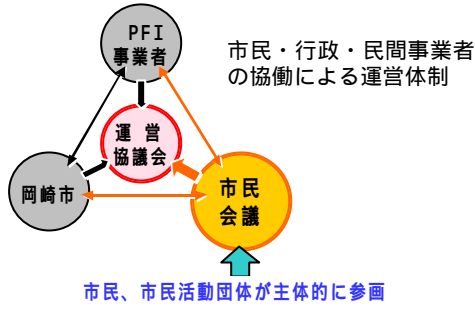
来館者にニーズにあった業種展開・品揃え
商店街と(仮称)岡崎げんき館タイアップによる「健康の日」制定
イベント等へ商店街も参加

4月3日(日)より第1回開催!

“にぎわい”創出!!

5. 市民・行政・民間事業者の役割

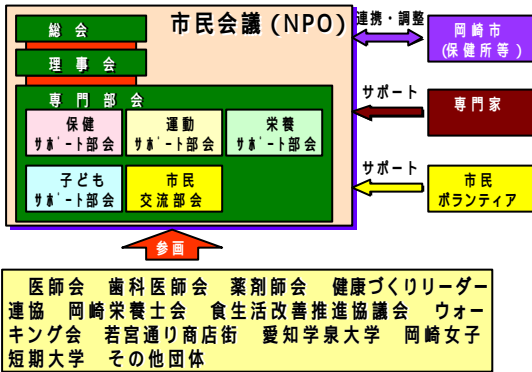
げんき館の運営イメージ



げんき館における市民会議の役割

- 運動・休養・栄養など健康づくり事業の実施
- 心身ともに健康で創造性豊かな子ども育成に関する事業の実施
- 健康づくりや子ども育成の情報の発信
- 健康づくりや市民交流イベントの企画・実施
- 健康づくりや子ども育成のための人材の育成

将来の市民会議の組織イメージ



岡崎市と民間事業者に期待する役割

岡崎市に期待する役割

- 「げんき館課」の設置
- 新たな保健・健康づくりサービス事業の展開
- 創造力豊かな子どもの育成と子育て支援策の推進

民間事業者に期待する役割

- 誰もが利用したくなる魅力的な施設づくり
- 全市民を対象としたサービスの提供
- 無駄の無い効率的な事業運営
- 安定した集客の確保

6. げんき館開館に向けてのアクションプログラム

| | 平成17年度 | 平成18年度 | 平成19年度 | 平成20年3月～ |
|-----------------|------------------------------|-----------------|----------------|------------------------|
| 市民会議 | 運営体制の確立 | NPO法人の認証取得 | 運営事業の試行的実施 | 運営事業の本格的実施 |
| 市民会議個別事業 | 教室・講座の一元化、情報ストック | 元気づくり教室の試行的実施 | ヘルスチェックシステムの確立 | 岡崎げんき館での運営事業のスタート、継続実施 |
| | 地域巡回体力チェック | 栄養サポート事業のプログラム化 | 試行的運営実施 | |
| | げんき広場、気になる子どものSCの運営計画、運営体制確立 | 試行的運営実施 | | |
| | 岡崎げんきまつり、各種教室等の企画・実施 | | | |
| | | | | 平成20年3月完成 |

最後に

市民会議は、市に対し要望するだけでなく、行政・民間との協働により、げんき館の運営に参画し、市民の健康づくりをサポートしていきます。

(3) 市民フォーラム開催結果の概要

参加人数

120名の参加動員計画のうち、参加者総数は118名であった。内訳は以下のとおりである。

| 区分 | 人数(人) | 備考 |
|----------|-------|---|
| 市民会議 | 44 | 保健サービス6名、運動・休養10名、栄養11名、子ども育成10名、市民交流7名 |
| 講演者、専門委員 | 4 | 基調講演者1名、専門委員3名 |
| 岡崎市 | 9 | スタッフ及び市民会議メンバーを除く |
| 市議会議員 | 6 | |
| その他の一般参加 | 42 | |
| スタッフ | 13 | 健康づくり拠点室等7名、ランドブレイン6名 |
| 合計 | 118 | |

プログラム

1. 開会あいさつ(岡崎市都市整備部長 小野博章氏)
2. 市民提案発表(市民会議保健サービスグループリーダー 荒井俊裕氏)
3. 基調講演(東京都立大学教授 星旦二氏)
4. 意見交換会
 - ・ グループ代表による補足説明(荒井俊裕氏、近藤恵子氏、小島千佳氏、富田博氏、渡辺武治氏、植野誓子氏)
 - ・ 意見交換
 - ・ 専門委員等コメント(安藤正人氏、竹本洋氏、久我正氏、星旦二氏)
5. 閉会あいさつ(市民会議副代表 幾田満智子氏)

プログラムについては、当初予定から、基調講演と市民提案発表の順序を入れ替えて開催した。



(4) 開催記録

あいさつ

(小野氏 (岡崎市都市整備部部長))

・本日は、大変お忙しい中、仮称岡崎げんき館市民フォーラムに御参加いただきまして、真にありがとうございます。また、日頃は、皆様には、本市が進めております各種事業につきまして、御支援、御協力いただきまして、厚く御礼申し上げます。とりわけ旧市民病院跡地におきましては、元気と活力を創造する拠点作りとして、保健所を核とした健康増進施設、仮称岡崎げんき館事業につきましては、岡崎げんき館市民会議として御参加いただきました医師会の先生をはじめ、歯科医師会、薬剤師会、保健師さん、健康作りリーダー、地元発展会、愛知学泉大学、岡崎女子短期大学など、多くの皆様には重ねて、御礼申し上げます。また、病院跡地基本計画におきまして、平成 15 年から専門委員として御指導いただいております、愛知学泉大学、安藤先生をはじめ、岡崎女子短期大学、竹本先生、元愛知県健康づくり財団、久我先生にも、御出席を賜っておりまして、意見交換の中で、講評などお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。さて、本日のフォーラムは、お集まりの市民会議の皆様方の、市民ワークショップでの活動報告並びに提案を発表していただくものであります。本市におきましては、市民主導の行政を目指しておりまして、色々な場面で市民ワークショップが開催されております。この仮称岡崎げんき館整備につきましても、運営などにつきましてワークショップが開催をされておりまして、各グループ別やリーダー会議、また、全体会議におきましても、活気にあふれた意見が多く出ていたかと思われまます。これも、皆様方が、真剣に本事業に取り組んでいこうという姿勢の現われと考えております。本日は、東京都立大学大学院教授でございます星先生をお迎えして基調講演を予定しておりますが、若干プログラムを変更させていただきまして、皆さんの御意見を伺った後に、基調講演をしていただくという風に変更させていただきますので、よろしくお願いたします。最後にこの場をお借りまして、この一年間、御活躍いただきました市民会議のメンバーの皆様に、高いところからではございますが、お礼を申し上げまして、挨拶とかえさせていただきます。

市民会議提案発表（保健サービスグループリーダー荒井氏）

- ・本日発表する内容は、第1に、市民会議の役割と提案の趣旨、第2に岡崎げんき館が目指すもの、第3に岡崎げんき館が果たすべき機能・サービス、第4に市民・行政・民間事業者の役割、最後に、げんき館の開館に向けての市民会議のアクションプログラム、の順に進めてまいります。

1．市民会議役割と提案の趣旨

1) 市民会議とは

- ・「岡崎げんき館市民会議」とは何かを簡単にご説明いたします。
- ・市民会議は、平成15年度に、市民ワークショップという形で、5つのグループにより開始いたしました。そして、平成16年度には、同じく5つのグループ「健康づくり運動・休養グループ」、「健康づくり栄養グループ」、「保健サービスグループ」、「子ども育成グループ」、「市民交流グループ」ということで、それぞれ関連する色々な市民団体、三医会、保健師さん、学生さん、本年度から公募による市民の皆さん、地域の住民の皆さんを加えて、会議を進め、また、グループ会議、リーダー・副リーダー会議、全体会議という形で検討を進めてまいりました。

2) 市民会議の役割と提案の趣旨

- ・市民会議の役割は、げんき館のあり方について提案したい、市民活動団体としてげんき館の運営に参画したい、健康づくりや市民交流などの事業を企画、そして、実施していきたい、ということです。
- ・本日発表する提案の趣旨としましては、PFIという形式で岡崎げんき館は運営される予定ですが、PFI事業者に対して、できるだけ市民の意見を反映させていきたい、また、どういった活動をしていくかということ、これからも積極的に提案していきたい、ということであります。
- ・また、本日の市民フォーラムは、皆さんの意見交換の場でもあり、ご意見を反映して進め、げんき館に関する市民相互の共通理解を深めていきたいと思っております。

2．(仮称)岡崎げんき館が目指すもの

1) 基本コンセプト

- ・平成15年度から市民会議が進んできたのですが、その中で私たちはこういったことを提案しております。岡崎げんき館の基本コンセプトとして、「笑顔でげんきの輪を広げよう 岡崎げんき館」。それに向けてがんばっていきましょうということです。

2) テーマごとの目標

- ・平成15年度に「岡崎げんき館基本計画」というのが、岡崎市から出されました。その中で、「健康」、「交流」、「にぎわい」という3つのテーマが掲げられました。私たちもそれに沿って、検討を進めてまいりました。

3．げんき館が果たすべき機能・サービス

1) げんき館の4つの機能

- ・げんき館の機能としては、保健サービス、健康づくり、子ども育成、市民交流の4つの機能が複

合化した施設として位置づけられています。

- ・市民会議では、それぞれの機能に対する重点事業を提案させていただきます。

4．重点事業の提案

1) 保健サービスグループ

- ・まず、私も参加しております保健サービス機能では、「げんき館に来れば、健康について何でもわかる」、「健康に関する総合的な情報発信」です。
- ・元気な人も、そうでない人も、皆さんげんき館に来ていただいて、より元気になっていただくということです。
- ・具体的な情報の内容としては、健康に関する正しい情報、岡崎市の健康に関する課題や現状といった情報、疾病予防のための教室や活動の紹介や相談に関する情報を集めて、発信することが必要であると考えました。
- ・また、情報の発信方法としては、まずは、教室や講演です。医師会や保健所などで色々な教室が開催されていますが、バラバラであったり、あまり市民の皆さんに知られていないのが現状です。ここに来れば、すべて網羅されるようなことが理想であり、全てをここでというのは難しいですが、一元的に実施して市民にわかりやすく教室などを実施したいと考えております。
- ・また、パソコンなどの媒体を通して、情報を皆さんにお知らせしたいと考えております。

2) 健康づくり運動・休養チーム

- ・健康づくり運動・休養チームですが、健康づくりというのはげんき館の重要な機能で、市民の健康づくりのきっかけをつくっていただきたい。または、はじめの一步の事業ということです。
- ・自分の健康度を知っていただくために、ヘルスチェック、体力チェックを行って、運動はこうした方が良いとか、休養が必要な方にはリラクゼーション教室など、こういった方法で体を休めた方がいいよ、といったことを考えております。
- ・また、岡崎市全体、地域全体でこういったことを進めるために、健康づくりのボランティアの人にも活躍していただければならないということで、ボランティアの育成や指導者のレベルアップを含めた教室や講座も開催していきたいと考えております

3) 健康づくり栄養チーム

- ・次に健康づくりの栄養グループですが、栄養に関心のない方に関心を持ってもらいたい。また、少し関心がある方には積極的にサポートして、もっともっと知っていただきたい。そのためには、色々なイベントや教室、講座を開催して、栄養に関する診断や相談を受けられることを目標としております。

4) 子ども育成グループ

- ・子ども育成グループですが、医師会の小児科医の先生にも参加いただいてワークショップを進めておりますが、テーマは「子ども、子育て、育児支援」です。わが国では、少子化問題ということで、本国会でも少子化対策が検討されていますが、医療や年金や介護には予算がありますが、なかなか少子化に対する予算は、具体的にこうした方が良いというのは生まれてこない、

まだ難しいというのが現状です。そこで、将来を担う子どもたちにとって、精神も肉体も健康なお子さんだけではなく、病気がちであったり、障害を持った子どもたちのサポートも重要です。また、気になる子どものサポートセンター、ということで、健康そうでちょっと気になるとか、気になるけど手をつけられない、非常に子どもの問題は難しいわけですが、岡崎げんき館で、げんき広場ということで、みんなで遊んで交流をして、子育ての駆け込み寺として、悩んだときはここで相談することができる。また、専門的な小児科医を含めて、カウンセリングも受けられるような施設が出来て、岡崎が発信基地となって広がっていければという、小児科の先生の熱い希望ではないかと思います。そういったことで、提案させていただいております。

5) 市民交流機能

- ・市民交流グループですが、まず、宣伝させていただきますが、4月3日の日曜日に第一回「岡崎げんきまつり」を開催させていただきます。先ほど基本テーマのお話させていただきましたが、「交流」「にぎわい」という点で、この地域、げんき館を中心ににぎわっていかねばダメなんだ、ということで地元の方々に非常に気合を入れていただいております。いろんなイベントを考えておりますが、まずは「岡崎げんきまつり」を開催いたしまして、できれば毎年開催していきたいと考えております。また、地元の商店街では、げんき館のお客さんのニーズに合った品揃えを検討いただいているようですし、健康の日といったものもつくって、にぎわう街づくりを考えていただいております。そのほか、ウォーキング会など、元気まつりではいろいろなことを企画しておりますし、開館後も、もちろんこういったことを続けて生きたいと考えております。
- ・また、にぎわうためには来ていただいていたかなくてはならないわけで、そのための手段として、「げんき館バス」の運行なども提案しております。

5 . 市民・行政・民間事業者の役割

1) げんき館の運営イメージ

- ・げんき館の管理運営は、PFI 事業者が中心的な役割を果たす形になりますが、市民・行政が関わっていかねばならないわけで、運営協議会を通じて、私たち市民会議も運営に関わって行きたいと考えております。

2) げんき館における市民会議の役割

- ・運動・休養・栄養など健康づくりに関する事業の実施、心身ともに健康で創造性豊かな子どもの育成に関する事業の実施、健康づくりや子どもの育成に関する情報の発信、健康づくりや市民交流に関するイベントの企画・実施、健康づくりや子ども育成のための人材の育成などを、市民会議の役割として、これから重要になっていくと考えております。

3) 市民会議の組織イメージ

- ・市民会議は、将来的には特定非営利活動法人（NPO）を目指します。
- ・現在、約10団体が参加しておりますが、これに限るわけではございませんので、これからもっと参加していただいて、専門部会にもそれぞれ参加していただいて、この若宮庁舎に保健所も

入りますので、行政や専門家の先生と連携をとって皆さんと連携して進めていきたいと考えております。

4) 岡崎市と民間事業者に期待する役割

- ・市民会議として、岡崎市と民間事業者に期待する役割ですが、まず、岡崎市に対しては、是非、保健所に「げんき館課」の設置をお願いしたいと思います。保健所は様々な業務を行っていて、厳しい業務の状況であると思いますが、是非、実現していただいて、保健所とげんき館が一体的に実施されるような体制を敷いていただきたい。
- ・新たな保健サービス事業や市民健康づくり事業の展開、新しいげんき館ができるわけですから新しい保健サービスを展開していただきたいということです。
- ・想像力豊かな子どもの育成や子育て支援に関する事業の推進、子どもの問題は特に重要で、将来の岡崎を支えていく存在ですから、げんき館が核となって事業を推進できる体制を敷いていただきたい。
- ・民間事業者に対する期待として、民間の方々ですからより魅力的な施設づくり期待したい。また、営利目的ではなくて、全市民を対象としたサービスの提供を考えていただきたい。最近では、セントレア空港が開港して、工事を含めて予算面でうまく行っているようですが、民間の力で無駄のない効率的な事業の運営、にぎわいのある安定した集客が大切であると思います。

6 . げんき館開館に向けてのアクションプログラム

- ・市民会議が、開館までどのように動いていこうかということです。
- ・げんき館の開館は平成 20 年 3 月を目標としております。市民会議全体では、平成 17 年度も運営体制を確立していきたい。また、NPO 法人の取得といった話もあります。それと同時に、げんきまつりなども含めて実際に試験的に色々な事業を進めていって平成 20 年 3 月には、げんき館で本格的にスタートできれば良いと考えております。
- ・個別の事業としては、先ほどの各グループ別の提案をよく読んでおいていただければと思いますが、各グループで進めてまいります。また、市民会議としてはこのような形で会議を進めてまいります。
- ・最後に、市民会議は、市に対し要望するだけでなく、行政・民間との協働により、げんき館の運営に参画して、市民の健康づくりをサポートしていきたいと考えております。ご清聴ありがとうございました。

基調講演

- ・皆さんこんにちは、東京都立大学の星と申します。
- ・このような会では、市長や部長さんがよくいらっしゃいますが、挨拶をされて帰ってしまいます。そういったところでうまく行った試しはありません。小野部長に大きな拍手をしてください。みんなの意見を大事にして一生懸命やろうという思いが挨拶に現れていたと思います。
- ・荒井さんの発表が、全体の発表であったと思うのですが、PFI 事業で、このようなかたちで市民と行政が協働で展開するというのは、全国で初めてだと思います。もちろんうまく行くと思いますが、十分全国で注目されて、なぜ岡崎市はうまく行ったのだろうか、見学に来る時代がくると思います。こない、皆さんの活動もしぼんでしまいます。素晴らしい内容であったと思っております。
- ・印象的だったことは、子どものこともあるし、お年よりのことも、世代間交流のことも、祭りのこともあるし、私たちもこういうことが健康づくりの中で最も大事だと日頃思っていました。医師会というと、えばったイメージがありますが、サポートしようという言葉が使われているというのも印象的でした。
- ・協働というのは、皆さんがいっしょに手を繋いでがんばっていくという、こういったことだと思いますので、どうぞ、荒井さんの発表に拍手をお願いいたします。

- ・結論になりますが、市民を、地域を愛する人が、がんばるとうまく行くと思います。別に、東京の大学の人がここで何をやってもうまくいきません。ここに住んでいる人、この街の人が核となると、うまく行くと思います。皆さんの活動は必ず、全国をリードすると思います。
- ・こういった世界全体の大きな流れを「エンパーメント」といいます。専門家が力を持つのではなく、地域が力を持つという考えをエンパーメントといいます。キーワードになると思います。

- ・全国的にはどこが長生きかご存知ですか。沖縄ではありません。愛知県も決して長生きではありません。寝たきりが長いのは NNK、ネンネンコロリといえます。もうひとつ、PPK はピンピンコロリといえます。皆さんはどちらが良いですか。
- ・全国で、ピンピンコロリが最も多いのは、長野県になります。一番ネンネンコロリが多いのが、沖縄県です。残念ですが、愛知県は健康寿命が長いわけではありません。特に女性はそうです。なぜ長くないのでしょうか、理由は分かりません。今日一緒に考えてみましょう。
- ・私は、こう考えております。健康で長寿という街は、街づくりになります。どこが街づくりになつと思いますか。簡単です。5年前の皆さんの寿命は、男性が 77.1 歳、女性が 83.1 歳でした。ところが、5年後は、男性が 78.4 歳、女性が 84.8 歳です。寿命が、男性で 1.3 歳、女性で 1.7 歳延びています。皆さんこういったことをご存知でしたか。
- ・これは素晴らしいことだと思います。仮定の話ですが、皆さんの街で、本当は今年死ぬ予定だった人が、もう一年長く生きたとします。市に高齢者は 5 万人居ますが、三菱や豊田に勤められれば高齢者の方の年金は年間約 300 万円近くもらえます。国民年金などはもう少し低くなりますので、年間 100 万円と仮定すると、5 万人の方が 100 万円もらうとすると、市にいくらのお金がおりにるか計算してみてください。
- ・膨大なお金が市に戻ってきます。市の一年間の予算は 1,100 億円と聞きましたが、500 億円と

いう、市の一年間の予算に比べても相当なお金が、高齢者が長生きすることによって街にお金が入ります。それを商店街でしっかり使っていただければ、街は活性化するという事です。健康で人が長生きすることが、街づくりになるということをご理解いただけでしょうか。

- ・ 皆さん長生きしてください。90歳まで生きると、年金の受取額がちょうど1億円になります。これが今日のキーワードです。皆さんしっかり長生きして、せつかくこれまで年金を払ってきたのですから、しっかり年金をもらって死にませんか。これが問題提起です。大事なことは、生きる事です。そのための方法が運動・休養・栄養でいいんですか。何が大事ですか。
- ・ 長野は何で長生きなのでしょう。都道府県で寿命は異なりますが、こんなことが分かりました。保健所が一生懸命がんばると、寝たきりが少なくなることが分かりました。だけど、それは直接的な効果よりは、高齢者が働くことによって寝たきりを少なくするということが分かりました。そして病院が多くあることは、結果的に、寿命を延ばすことはありませんでした。ベット数があればあるほど、高齢者の寝たきりをつくることが分かりました。これが本日の私の問題提起です。また、所得があればあるほど寿命が延びることが分かりました。しかし、女性は逆です。
- ・ 何よりも大事なことは、高齢者がしっかり働くことです。それが、長野県です。
- ・ ピンピンコロリとなるためには、運動・栄養・休養以外に何が必要でしょうか。また、長野県が長寿な理由のひとつは働くことでしたが、他に何かあるでしょうか。考えてみてください。
- ・ それは環境だと思います。東京都と大阪は短命です。水と空気とメダカだと思います。ミミズだと思います。げんき館にミミズ館を作ってくださいませんか。つまり、ミミズや蛭の大切さをここで子ども達に教えていただけませんか。そういうコンセプトはありますか。
- ・ 保健所の受診率を上げて、太った保健師が痩せるように指導すれば、みんなが健康になるのでしょうか。笑えば、血糖値が下がるんですよ。ガンと戦うと前向きになることが大切なんです。WTOが提唱するヘルスプロモーションをもっと勉強してください。
- ・ 長野が長生きな理由はなによりも生涯学習です。そして、バリアフリーです。ミミズやメダカも含めた環境です。そして、寒くない住居です。もちろん、寒くない住居を持つために必要なのは、所得です。そして、働き過ぎないことです。そして、農業もとても大事です。
- ・ 健康というのは、そういった総合的な要素で決まります。このげんき館もそういった総合的なことを視野に入れたプログラムを考えませんか。つまりもっと、教育も労働も農業も考えて総合的に取り組む必要があるということ、私が言ってるのではなくて、WTOがいているのです。こういう街づくりを、公共も考えて推進していただきたい。それが私の提案です。
- ・ 大事なことは日々の生活です。事例をとおしてそういったことを説明したいと思います。本日は資料がございませんが、私のホームページに資料がございますので、ダウンロードしてみてください。それから、高校生のお子さんがいらっしゃいましたら、保健体育の教科書に載っていますのでみてください。私が行ったことの3分の2が載っていますのでみてください。しかし、日本の特徴は、保健体育をほとんど勉強しない事です。
- ・ 実は、平均寿命が延びないのは、東京・名古屋・大阪、そして愛知なんです。なぜでしょうか。女性で全国41位です。これほど産業が盛んで豊かで、寿命が延びないんですか。ぜひ、話し合ってください。

- ・私は、環境だと思います。愛知県は長野県とどんどん格差が広がっています。平均寿命が延びた県は、秋田県や山形県などです。産業が発達しなかったからという方もいらっしゃいますが、私は、環境を壊さなかったからだと思います。
- ・1965年の頃ですが、太平洋沿岸と瀬戸内海が長生きでした。愛知県も長生きです。ところが、30年後の1995年の長生きな地域は、フォッサマグナと阿蘇山と沖縄県です。共通点はなんですか。私は、山だと思います。水だと思います。空気だと思います。全国のSMR・標準化死亡比ですが、一般的に海に近い、海岸線が早く死にます。
- ・私が今日、本当にいたいのは、もっと環境に注目してください。水も空気もゴミもです。日本にごみ焼却炉が1,900箇所くらいありますが、イギリスにどれだけあるかご存知ですか。7箇所です。なんで、7箇所なのでしょう。
- ・愛知県の市町村で見ると、岡崎は長生きでした。豊田も長生きです。素晴らしいです。愛知県全体は全国で低い方であることは覚えておいてください。
- ・水と空気のこと、環境を考えないともう、長生きは無理だと思います。
- ・世界が今一生懸命やっているのは、治療ではありません、予防です。決して、運動・休養・栄養ではありません。例えば、アメリカの代替医療においては、鍼灸やカイロプラティック、エステ、温泉療法、森林療法、アロマセラピーです。保健も使えるんです。
- ・世界と日本がやっていることの大きな違いは、成功報酬型であることです。つまり、歯科の先生が子どもの虫歯を治そうと一生懸命がんばられて、虫歯の子どもが減ったら先生の収入はどうなりますか。そしたらお願いですから、岡崎市は先生にお金をあげてくださいよ。私は、そうしない限り、本当の問題解決はできないと思います。そのことを市民がもっと理解すべきです。なぜ、日本に予防治療が普及しないのですか。理由は簡単です。病気を治すほど、医師の収入は減るからです。
- ・市民病院がある事は結構です。ぜひ予防治療を実践してください。市民病院は赤字になりますが、国民健康保険と老人保健と介護保健は確実に黒字になります。わかりませんが、国民健康保険と老人保健と介護保健の特別会計で合わせて、500億円近く使っていると思います。皆さんが払うわけですから、より健康であるために使って欲しいというのが、私たちの提案です。残念ながら世界で最も、予防に税金を使っていないのは日本です。病気を発見することには真剣ですが。
- ・大事なことは、高齢者をこきつかうことです。健康は管理できますか。別にコレステロールも高くて死ぬわけではないんです。大事なことは、高くても死なないという事実です。大事なことは、市民が勉強して、本当のことを知ることが大切です。
- ・大事なものは、サポートです。公務員はどのくらいの期間年金をもらっているかということ、5年です。一番危ないのは、校長先生です。
- ・最期の病名は、皆さんどの病気がいいですか、話し合ってください。どれでもいいと思います。
- ・あと何年生きられるか計算できます。7つの項目がありますが、いくつ守っていますか。睡眠も食事も大事です。0~3ほとんど守ってない方は、45歳であと21年生きてられます。6~7の人はあと32年生きていられます。この差は、11年あります。年金に換算すると3,300万得するか、損するかということです。大事なことは、男性の多くが、年金1年半もらって死ぬとい

う事です。このデータがあって、年金の開始が、65歳となったということを皆さんご存知ですか。

- ・元気で長生きするための方法は、健康・休養・栄養ですか。「タバコの禁煙」が一番大切です。喫煙は麻薬中毒です。こういった本当の情報を流してください。
- ・男女の寿命の格差はどうしてあるんですか、それは、こんなにタバコを吸った国はありません。こんなに、仕事をした国はありません。
- ・それでは、なぜ長野が、長生きなのでしょう。もう一度、話し合ってください。
- ・公民館活動が盛んであること、そして、医療費を最も使わない県であること、保健師が最も採用されている県です。保健師や栄養士をしっかりとって予防活動をしているのです。
- ・私は、市役所の標高を調べました、1,000mを超えると2から3年長生きすることがわかりました。早く死ぬのは、海拔0mです。これがエビデンスです。
- ・三鷹市では400人の市民が、一年間かけて、フォーラムで健康に関する計画を作ったんです。その責任者の方が市長になりました。これが進んだ市民参画の形です。
- ・公民館が全国で圧倒的に多いのが、長野県です。高齢者の有業率が最も高いのが、長野県です。
- ・男性は、収入が増えれば増えるほど、寿命が長くなります、一方で、女性は逆です。所得が多ければ、多いほど、短命です。女性の方は、働きすぎないでください。家庭や育児のある女性は、オーバーワークとなりやすいのです。もう少し、男女の問題も考えて、できれば、館長は女性にしてください。保健所長も女性にしてください。
- ・長野県から学ぶ私たちのキーワードはこれです。「最後の日まで長靴を履いていたい」。長野県の特徴は、20代から50代が死なないこともあります。理由を調べてみたら、肝臓ガンが全国の半分でした。なぜですか。結局、医者がいなかったということです。全国見ても一緒ですが、C型肝炎の関係です。タバコの喫煙率が最も少ないのも長野県です。保健師の配置も全国第四位です。
- ・ただ、長野県では脳血管障害の死亡率が日本で一位です。でも、これの何が悪いんですか。脳血管障害でも、95歳まで生きたらそれはそれでいいじゃないですか。大事なのは、何で死ぬかではなく、どうやって終末をむかえるかです。それを考えてください。
- ・結論ですが、長野県長寿の理由は、水と空気、環境と生涯学習、死ぬまで役割を持って働き続けることです。
- ・健康を規定する要素は、保健医療が10%、環境の役割が20%、遺伝の役割が20%です。それでは、日常生活習慣は何パーセントですか。健康規定要因は多様です。田舎と上流ほど長寿です。感染症撲滅は上下水道に関連します。胃がん死亡率の低下は、冷蔵庫普及により、塩と焦げをなくし、新鮮な食品を新鮮なうちに食べることが原因です。子宮頸がん予防は体を清潔にして、セックスすることが大切です。寝室にシャワー室を作りましょう。それは予防住宅です。大腸がん予防は食物繊維の多い食事が大切です。
- ・健診も大切ですが、もっと大切なのは日々の生活です。手を洗うこと、バランスの良い食事をとること、笑うこと、外に出ること、役割をもつこと、それが健康に大事だということを覚えて下さい。ヘルスプロモーションです。ダイナミック(dynamic)変動、スピリチュアル

(spiritual)前向きに生きること、これが大事なのです。

- どんなに障害になっても、年をとっても妥協しないことは何でしょうか。「自己実現」「楽しいこと」「恋すること」です。これが大事です。チークダンスも大事です。女性の元気は口紅、化粧、みだしなみが大事です。
- 世界的な流れは、ヘルススクール、ヘルシーカンパニーです。イギリスのブレア首相は4人目の子どもが出来て、育児休暇をとったはずですが。日本も、男子が育児休暇がとれるように、給料が保証されるようにするべきです。
- 健康日本21は素晴らしいですが、岡崎市の健康を考えると環境整備が大切です。岡崎市は人口が35万人、センターを作っても何も変わりません。大事なのは、各区域・学区ごとに計画を作って、サテライトをつくってもっともっと活動してください。
- 私は、生涯現役の効果について、全国の16の市町村の高齢者を対象として、1998から2000年に追跡調査をして研究をしました。まず、男性は死にますが、女性はなかなか死なないことが分かりました。主観的な健康感について、あなたは健康ですかと尋ねると、「健康である」と答えた人はなかなか死なないことが分かりました。「健康じゃない」と答えた人の、約2割が死んでいます。買い物に自分で行く人は生存率が高く、弁当を配布されている方は死亡率が高いです。自分で買い物して、作って食べることが大事です。友人と会って交流している人は、生存率が高いです。
- 外出していると、ほとんど死にません。外出しない理由は、足腰が弱いからではありません。大事なのは、ひとつは、自分は健康であるという気持ちです。それでは、外出する理由は何でしょうか、健康であるという気持ちだけでは説明できません。貯金通帳を嫁に渡さないことが最大の理由です。知的能動性とはこういうことです。新聞や雑誌を読むこともそうです。つまり、外出を規定するのは、主観的健康感の維持と知的能動性です。どうぞ、「死ぬまで財布を嫁に渡さない」「口紅、化粧、身だしなみ」と一緒に覚えておいてください。
- 所得が100万以上あると死亡率が下がります。皆さん100万円ぐらいは稼ぎましょう。同居との関係を見ると、男性は妻が死ぬと、とたんに死亡率が高くなります。女性はそれほど変わりません。運動も大切です。
- ボランティアをしている人も、ほとんど死にません。地域には、学校の先生、会社の重役の人、大きなホテルのシェフ、優秀な人がたくさんいます。それをぜひ活用してください。その活用拠点として、ここをぜひ使ってください。医者や栄養士を雇うという考え方ではなくて、地域の豊かに暮らしている優秀な方を活用していくようにしてください。
- ペットを飼う人は、死にません。捨て猫を拾って、洗って、一人暮らしの人に配りましょうよ。強制はダメですが、少し飼ってもらえば、ぜひという話になるとは思いますかね。
- 健康日本21の計画づくりで、蘇陽町の例をお話します。人口、5,000人の小さな町です。目標を設定しました。1年したら特養ホームを1つつくる。5年したら、保健師を5人雇う。はじめ、助役は具体的な目標を設定することを嫌がりました。しかし、最終的に町長を説得した方法は、これは住民が作った計画であり、選挙で負けるよといいました。長を決めるのは市民です。この市で、このようなフォーラムが開かれることは、市長さんのおかげだと思います。
- 特養ホームができたことによる町のメリットは何だと思いますか。最大の効果は、雇用確保に

よって若者が 18 人この町に戻ってきたことです。こういうのが町づくりです。そして、大切なのは効果です。アウトカムです。それは、若くして死ぬ人が減ったことです。年金をもらえる人が増えたことです。これが最大のメリットです。もっと大事なのは、医療費が安定したことです。その代わり、病院の収入は減って赤字となりましたが、国民健康保険も、老人保健会計も介護保健もみごとに黒字になりました。

- ・がんばった保健婦が課長補佐になりました。合併さえしなければ、彼女は町長になれたはずで、実はヘルスプロモーションという活動はこういうことです。北欧では、厚生大臣の 4 から 5 割が女性大臣です。年齢も 40 歳ぐらいで大臣となれるのが、常識です。日本との違いを覚えてください。
- ・蘇陽町のキャッチコピーは、そよ風とくらしと健康です。暮らしが大事です。
- ・最も大切な事業の推進条件は、住民のメリットです。プロセスで参加する事です。そして、住民のみなさんで成果をモニターしてください。岡崎げんき館が本当に市民のメリットになるのといった視点でディスカッションしてください。そして、専門家の力を借りることも大事ですが、主体性が大事です。
- ・最期に年金獲得一億円の話をして終わります。皆さん宝くじを買って 1 億円当たった方いますか。いないとは言いませんが、難しいでしょう。それでは、年金で 1 億円をもらうことは可能でしょうか。可能性は高いと思います。早世すると年金は 0 円です。1 億円もらうためには、何年間生きればよいと思いますか。そうです。25 年間もらってください。これは個人の努力次第です。
- ・これだけではだめです。げんき館をつくって、みんなで支えあってください。もう一つ大事なのは、水も空気も社会環境も含めて環境が大事です。
- ・「90 歳で年金 1 億円」、「死ぬまで財布を嫁に渡さない」、「口紅、化粧、身だしなみ」この三つを今日は覚えてください。健康なまちづくりは、みんなが長生きすることで年金が町にきて、十分活性化します。ぜひ、集めた年金を商店街に使ってください。世界では、医療だけではなくて、生活がもっともっと大切です。健康診察も大事ですが、毎日楽しく生きることが大切です。
- ・最期に、私の家の犬です。猫を一昨年、拾ってきて合わせたのですが、遊び相手ができ、すごく元気になりました。人も出会いが大切です。孫が生まれました。私がびっくりしたのは、妻の顔が少し若返って見えることです。それでは、ご清聴ありがとうございました。

意見交換会

(進行役)

- ・進行役を勤めさせていただきます。ランドブレインの岩田と申します。よろしくお願い申し上げます。
- ・先ほどは代表の荒井さんから総括的に発表していただきましたが、それでは十分に伝わらなかった部分もあったかと思います。各グループの代表の方に、補足的に提案の説明をしていただければと思います。
- ・市民会議のアドバイザーを務めていただいております、専門委員の先生方にも後ほど、ご意見を頂いてまいります。また、先ほど基調講演をいただきました星先生にもご意見をいただければと思います。
- ・意見交換会につきましては、市民の方々から質問や意見をお伺いいたしまして、代表の方々に答えていただくという形で進めたいと考えております。

(荒井氏(保健サービスグループ))

- ・平成 15 年度、シンポジウムで中京大学の湯浅先生から頂いたお話で、死ぬまで自分の足でトイレに行きたい。それを目指しましょうというお話を頂きました。
- ・私は歯医者ですので、「死ぬまで自分の口から食べ物を入れよう」、「死ぬまで自分の歯で食べ物を噛みましょう」ということを話しております。さきほどの、ピンピンコロリというのを誰もが目指すわけです。
- ・若い人たちは、私はそんなことないといいますが、本当にそんなことできるのということをいいます。
- ・げんき館ができることで、医師会、薬剤師会、歯科医師会、医療のプロとして、専門的な目からも、健康のためにこんなことをしていったらいいんじゃないかという情報をどんどん発信していきたいと考えております。また、私たちも新しい情報を勉強していかなければならないと考えております。
- ・先ほど印象的だったのは、私は PTA の仕事をさせて頂いていて、尊敬するある校長先生が退職後、すぐ亡くなられました。大変なご職業で校長先生も、公務員の方々も早死にされるという話を聞いて、少し、ジーンとききました。
- ・私は、今、義理の父と診療所をやっております。大正 15 年生まれで、まだ現役でやっております。星先生のお話じゃないですが、お父さん死ぬまで働いてもらうからね、とあって、毎日、診療所に出てきてもらっています。
- ・話を聞いていると、お年よりはよく恋の話をします。やはり恋をしていないとだめだと。やだ、先生やらしいとあって、お爺さんがさわってくるとか、と話していて良いか悪いかは別として、そういった部分は大切だと思います。
- ・話を戻して、保健サービスグループとしては、専門的な情報を提供すると共に、交流の場を進めていければと考えております。補足にはなっておりませんが、資料をよく読んでおいていただければと思います。よろしくお願いいたします。

(近藤氏(健康づくり運動・休養チーム))

- ・私たちの提案は、皆さん資料での 8、9 ページになります。星先生の話を読まると、少し、現実から離れているかな、という面もありますが、私たちとしては、げんき館という建物のできできないは別として、やはり地域で、現在も地域で活動をしているのですが、各市民ホームや学区ごとで、リーダーさん達やボランティアさん達が地元に戻って、皆さん一人ひとりとふれあいながら健康づくりの支援していきたいと考えておりました、今後も活動を続けていきたいと考えております。
- ・これからは、メンタル的なところ、人と人とのふれあいが、今後、大切だと思います。声かけとか、話すだけでもいろんなところで楽しいことも出てきますし、生きがい、そういったものも、やはり働く意欲は一生涯持っていられることが非常に大切であると実感しましたので、そういった面も、考えながら、生きがいづくり、健康・運動を考えて、来年度もがんばっていききたいと考えております。

(小島氏(健康づくり栄養チーム))

- ・栄養チームは資料では、10、11 頁になります。
- ・最近マスコミ等で、栄養に関する情報は溢れていますが、氾濫する情報の中で、自分にとって何が大切なのか、どのくらい大切なのか、げんき館がそれを知ることができる場になればと、考えております。
- ・具体的な事業提案の補足説明ですが、ニーズに合った教室を開催するということで、料理教室は民間の料理教室もありますが、仕事が終わった後でも参加できるような教室や、高齢者の方がお食事会として集まって栄養の話につながるような会を、げんき館で開いて、勉強していければ良いなと考えております。
- ・運動・休養チームとも切っても切り離せない関係ですので、平成 17 年度以降、更に連携をとって、開館に向けて活動していきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

(富田氏(子ども育成グループ))

- ・子どもに関する様々な社会問題は急増していると思います。その中で、私たちは、子ども育成という非常に大きなテーマを頂いて、提言をまとめてきました。自然や生き物と触れ合えたり、おもちゃを作ったり、本の読み聞かせを通して、子ども達が夢を育み、安全で自由な遊びの場を作り上げたいと思いました。また、親子のかかわりの場、子育ての相談の場としても機能する、げんき広場を提案いたします。
- ・また、さらに一歩進んだ育児支援として、いわゆる気になる子どもや、その親御さん達をサポートする場も非常に重要と考え、併せて提案いたします。
- ・多くのお父さん、お母さんが安心して子どもを生み、将来を担う子ども達が健やかに育つように、願いを込めまして提案をしたいと考えております。

(植野氏(市民交流グループ))

- ・私達、市民交流グループは、2つの重要提案を考えました。
- ・ひとつは、岡崎げんき館を賑わいの場とするために、岡崎げんき祭りを開催するという事です。平成 20 年に開館する岡崎げんき館を市民の皆様に PR する。岡崎げんき館って何？まだ、市民

の皆様には知られていないと思うのです。今日こちらにお見えの市民の皆様は、大変、健康づくりと岡崎げんき館ができるということに、関心を持たれて参加されていると私は思います。

- ・もうひとつは、若宮商店街のにぎわいを活性化させる。街を活性化するという事で、私は岡崎ウォーキング会の方から、岡崎市の活性化のためには、皆さんが歩かなくてはダメだといことを、ずっと言っております。歩くことで健康が保たれ、歩くことで皆さんと会話を持つ、そして笑いが生まれます。歩くことで街の中を色々を見つけることができるのです。ホントに、これまで見過ごしていたことが、小さい事まで目に留まって、健康と街の活性化のために、歩くことがホントに大事だということ、星先生のお話にもございましたが、笑うことと話すことと、皆様と一緒にいること、そういうことが健康づくりに役に立つんじゃないかと思っております。4月3日に、広場と講堂で、げんき祭りという催しを開催いたします。ステージの方ではカラオケとかコーラスとか元気でSHOWという催しがあります。この構内では基調講演もあります。市民交流グループは、街の賑わいを取り戻すために、岡崎げんき館はここであって、皆さんの健康のために良いよ、ということをやテーマとした活躍をしたいと考えております。よろしくお願いたします。

(進行役)

- ・荒井先生による総括的なお話でも結構ですし、市民会議のこれからでも結構ですし、げんき祭りに関するお話でも結構ですので、手を挙げていただいてご発言いただければと思います。自由なご意見、ご質問を頂きたいと思っております。

(横山氏：栄町)

- ・先ほど、星先生のお話を聞いておまして、健康と環境問題は密接な関係があります。皆さんの提案には、先生が強調された環境に関する提案が抜けているように思います。たまたま、岡崎全体のことを考えると、この地区が、中心市街地の康生周辺と東岡崎を結ぶ大事な地区となると思います。この場所のげんき館のあり方というのは、まさに環境共生都市岡崎を目指す岡崎に相応しい、環境に突起したようなげんき館というのを、いろんな具体的な手法はありますが、例えば先生から提案のあったような、いろんな具体的な手法はこれから皆さんで考えられればと思いますが、健康と環境というのは、生きていくうえで一番のホント大事なキーワードは環境問題であります。環境とリンクしたげんき館のあり方を、ホントに皆さんで考えていただきたい。

(進行役)

- ・今回の5つのグループでは、環境をテーマにしたグループは無かったのですが、子ども育成グループの方では、げんき広場のなかで、子どもが自然と触れ合えるといった提案がありましたので、それにつきまして、富田先生から何かあればお願いたします。

(富田氏(子ども育成グループ))

- ・子ども育成グループでは、げんき広場ということで、ふれあい、子どもの遊び場がふさわしいと考えまして、岡短の学生さんがたを中心としまして提案いたしました。その他に、子ども広

場の多い環境をつくっていく。水の流れる環境を作ってあげると良いといった意見がありましたし、木を中心にして簡単なものを統合したり、建物を統合したりしたら良いのではないかと
いう提案が出ました。

(山野氏：図書館クラブ)

- ・ひとつ質問というのは、PFI で今回やられるという事ですが、PFI にはどんな事業が入っているかということをお聞きしたいと思いました。
- ・とてもよい提案が入っていると思いますが、ここの中だけで考えられるのではなくて、私たちも新図書館ができるということで、そちらの方でも生涯学習というようなことで、年配の方も子ども達も、生きがいとかが、しらべ学習というようなことをやっておりますし、それから子育て支援センターも城北の方に行くとか、岡崎にはいろんな環境の良いところもございますので、それらを結びつけて考えていっていただきたいなと思います。どうしても岡崎というのは、一つひとつがバラバラで、そこでは一生懸命考えられておりますが、岡崎市全体としてそういうことが抜けてきているような気がしますから、ぜひその辺も考えていただきと思います。

(進行役)

- ・まず、PFI に関しましてですが、12月に市のほうで特定事業選定を行っております。3月から募集を行いまして、12月に事業者の選定を行います。
- ・もうひとつの、げんき館だけでなく岡崎市全体で連携してやっていく必要があるのではというご意見について、どなたかご意見いただけますでしょうか。

(渡辺氏(市民交流グループ))

- ・私ども市民交流グループは、生涯学習のことを強調して提案しているグループでございます。
- ・生涯学習ということが必要であることは、星先生の講演にもございましたが、私たちもまさしくそういったものを提案しております。げんき館で学習されることもございますが、他で学習された成果をげんき館で発表できる場を設けていただきたい。絵や書道など、そういうことも提案しております。
- ・それから、年齢のことでございますが、4月3日に予定しております、げんき祭りにつきましては、カラオケのコーナーも用意しております、一般から募集いたしましたら、93歳でこれだけのカラオケができるということを、仮設ステージで披露したいから参加させてくれ、といった応募も頂いておりますので、期待していただきたいと思います。元気な姿を見ていただいて、元気になっていただきたい。

(富田氏(子ども育成グループ))

- ・子どもを考えたときに、ネットワークというのは非常に大切です。
- ・僕たちのグループの中で、ある方が、ネットワークの中で、どれくらいの方が岡崎市の、こういったことに、関わってくるのかという図を作っていただいて、それを見ると、12から20ぐらいの人たちが関わって、子どものサポートを行っていきます。
- ・それと、運営ということに関しては、親同士、子ども同士のネットワークが非常に大切である

うと考えております。

- ・もうひとつは、小さい子どものサポートセンターといものを提言しております。小さい子どもをサポートしていくためには、行政にも参加していただかないといけないと考えております。しかし、どこの行政もそうですが、子ども課というのは無くて、岡崎市では、教育委員会と保健所など、そういった垣根を越えた人たちが集まって、げんき館の中で、子ども育成をどのように進めるかを考える会議を開いていければいけないということを提案いたしました。

(荒井氏(保健サービスグループ))

- ・PFI 事業体は、私達ワークショップでもいつも話しているのですが、いまの岡崎はばらばらであるといいます。星先生も話されるような、比較的小さな公共団体であれば、町長さん変えよう、ということで変わるかもしれません、しかし岡崎市では、そういったことは難しいと思います。しかし、それをやっていかなければなりません。
- ・PFI 事業では、岡崎市は PFI 事業者に任せたよ。PFI 事業者は儲かればいいや。それでは市民はどうするの。それでバラバラになってしまっははいけません。ですから、総合プロデューサーのような、それが市長さんでもかまいませんが、トップにたつ人が、プロデューサー的な役割をしていかないと、この問題であればこの組織だとか、どんどん動かせるような人が必要です。
- ・ひとつ気をつけなくてはならないのは、ひとつ間違えてしまうと、トップが間違っていた場合は困ります。この辺は気をつけて、私達、市民会議も見ていかなければいけないのではと思います。
- ・PFI という方式を採用するからには、トップに責任を持てる、プロデューサー的な方に入っていただいて、関連付けて事業を進めていただきたいなと考えております。

(進行役)

- ・先ほどの星先生のお話では、市民会議で総合計画をつくって、その代表の方が市長さんになられたというお話がありました。
- ・市民会議の中から、げんき館の館長さんが出ていただければと思います。

(市会議員)

- ・提案の中で、げんき館課というものを作って欲しいということと、富田さんの子ども課というのがございましたが、もう少し詳しく教えていただければと思います。

(荒井氏(保健サービスグループ))

- ・例えば、保健所の機能としていろんな課がありますが、(仮称)げんき館課というものができれば、より密接に活動運営できると思います。
- ・要望書には色々出ていますが、保健所のひとつの課として作っていただいて窓口として作っていただけると良いと考えております。

(富田氏(子ども育成グループ))

- ・岡崎市に限らず、子どもに関わる課はいくつかありまして、そういった人たちが縦割り行政でやる限りは、なかなか子どもが救われないか、というのが岡崎市に限らず問題であると思います。
- ・子どもに関わる何かがあった場合に、いろんなセクションの人たちが集まれるような、自由な動きが必要で、そういう運営管理をぜひつくって、子ども支援をしていけたら良いなと思いついて、提案しました。

(鈴木氏)

- ・これまでものの経過を踏まえた感想として、市の説明は、はじめは高齢者住宅であったり、次はまた違っていたり、やる度に内容が変わっていた。
- ・若宮町の人たちにとっては、どうやって人を集めるのかということは、死活問題であった。
- ・まがりなりにも、皆でやろうという方向になって、星先生にも褒めていただいて、こういう方向で進められれば、素晴らしいと思います。
- ・本日はこの紙には岡崎市となっていますが、しかし市民の提案書にはどこにも岡崎市とない。市が上手に隠れているのかもしれないし、市民主体に進められているということだと思います。このような形になってきたのは非常に素晴らしいと思いますので、ぜひそれを成功していただきたい。

(渡辺氏(市民交流グループ))

- ・私ども商店街としても、保健所の話を聞いたときは本当にかっかりしました。げんき館で、市民病院のような動員ができるかということです。
- ・市民病院がこの地にあった時は、一日3千人という方が往来していました。いついっても駐車場が足りない、というような苦情がありました。
- ・商店街が活気づくためには、商店を運営する人がげんきになればならないということで、私たちも積極的によしやるぞと、元気が出てきた次第です。
- ・星先生に基調講演をいただきましたが、私としては、余り期待をしておりませんでした。というのは、4月に講演をお願いしている吉村医院の吉村先生も、星先生と同じく、全国にげんきを発信している方を推薦しておりました。吉村先生と同じ考え方を持った星先生のお話は、1時間があつというまで、素晴らしいお話でした。ありがとうございました。
- ・吉村先生は、産婦人科でありながら、一切、帝王切開をおこなっておりません。薬も一切使いません。全国で講演依頼がある先生なのですが、これまで岡崎市では講演依頼が一度もございませんでした。

(倉橋(薬剤師会))

- ・先ほどの富田先生が言っていた子ども課についてですが、行政の方もいらっしゃいますのでぜひ実現していただきたい。
- ・厚生労働省と文部科学省の両方を一緒にした子どもの支援システム作りが岡崎市にあったら良

いと思います。既存の垣根をとって、縦割りではなく横割りの形のプロジェクトを作っていた
だきたいと思います。

(幾田氏)

- ・星野先生のお話を伺いまして、住民主体でげんき館をすすめるということと、意見交換会での
意見を取り上げてやっていけなくてはならないと思いい見させていただきます。
- ・私の友達など、仕事をやりたいと希望する人がたくさんいます。市は、高齢化対策というこ
とで高齢者の雇用の促進をうたっておりますが、現実としてはなかなか活動できないというのが
現状です。
- ・長野県の見本を参考とさせていただいて、市民協働参加によるげんき館を実現するために、高
齢者の方々が、本当に参画できるように、市民会議をとおして提案していきたいと思いい
ます。
- ・また、責任者は男性が一般的ですが、女性でも良いということをご意見いただきましたので、
そういうことも市民会議ではとりあげて進めていきたいと考えております。

(進行役)

- ・時間もきましたので、本日までご出席いただいております専門委員の先生から、今回の提案の感想
や今後のチーム会議に期待するコメントを頂きたいと思いいます。

(安藤先生)

- ・今日、星先生から環境ということをご意見いただきましたが、これからの社会において環境と
いうのは別の意味でも非常に大切に、げんき館というなかでの環境の係りも非常に大切ですが、
我々の市民会議というものが、社会的な「げんき」になるという意味での環境づくりはかなり
機能していて、本日のこのような意見交換の場が、岡崎市の意見集約の場となっていると思
います。
- ・資料の16頁にあるように、市民会議があって、市があって、PFI事業者ということで運営され
ていきますので、市に任せて運営していくということではありません。PFI事業者が具体的に
事業の運営を行いますので、ぜひ市民会議をもりあげていくということがポイントとなります
ので、従来の感覚とは違うやり方になると思いいます。
- ・現在のところ、4つの大きな機能が固定化してきていますが、今後、考えていかななくてはなら
ない機能もあると思いいますので、そういったところも意見を出していただければと思いい
ます。

(竹本先生)

- ・星先生の、胸のすくようなお話をうらやましくお聞きし、あれだけ言いたいことが言えるのは
なかなかできない事です。
- ・今回各グループの成果を見させていただいて、次第にまとまって来た感じがします。計画を作
る側から、実際の市民の方々のかかわりが深くなってきている内容となってきたと思
います。
- ・各グループの深度がちがいます。詳細に検討しているグループと、提案が漠然としているグル
ープがあります。また、前回も話しましたが、各グループの提案に重複することがあります。

重複の調整はグループ間での話し合いが大事であると思います。

- ・星先生の環境については、まさにこれからは環境と自然との共生を考えた形で、人の健康と環境をしっかりと考えていかななくてはならないということがあります。これからの日本、これからの地球ということも考えて行ければと思います。

(久我先生)

- ・これから皆さんにお願いしたいことがあります。実際、この市民の提案書は、市に渡って、市がPFI事業で進めていくと思います。その時に、市民の提案が全て取り上げるか、ということが一つあります。そのときに、もう一度、市と皆さんが大いに協議できる場を、きちんとしてるように監視していただきたい。そうでないと、これまでの検討が徒労に終わりかねない。そうすることが、将来のげんき館を運営していくという面で、市民の参画を作っていく源となります。
- ・私も、愛知健康プラザで公務員の仕事をやってきましたが、役所というものは非常に難しい。担当が変わると、つくったときの意思が無くなってしまふ。それを考えると、岡崎市が、市民会議をいままら設置して事業を進めていく姿勢は、非常にうらやましく思います。
- ・監視が無いと、どうしても行政は楽をしてしまいます。一番強いのは、皆さんが税金を投入することに対して、監視を行い、刺激を与えてください。そういう市民がいると苦しいと思います。しかし、そういうことが無い限り、良い仕事は出来ないと思います。
- ・役割分担というのがありますが、やってほしい期待というのが、市に対してなのか、げんき館そのものにやって欲しいのか。自分はできないけれど、やって欲しいというのは、少し寂しく思います。市民は市民の責任として、ここまでは自分でやるから、市はここまでやって欲しい、という事を皆さん検討していかなければならない。役割分担で、ここまで丸をつけていただければ、私が市の立場であれば、大変期待します。
- ・施設をつくるための提案をすることの議論はできても、運営していくという意味での責任分担をどこまでできるか、という事は非常に難しいと思います。健康づくりリーダーさんも、今ここに出てきている人が、自分の価値観で提案していても、それをまとめて、どこかの事業に反映する事は大変ドロドロしい議論となる。そういったことがある事は大切だと思いますので、役割分担の中で、もっとドロドロしい議論をしていかないと、実際に運営するときに、自分たちの役割分担を果たせないということが起きます。また、今後、2・3年、自分達が分担を持ち帰ったときに、自分たちの団体として何ができるのか、自分たちの仲間づくりも同時に必要ではないかと思います。それが、施設ができるまでに、全て完結しなくても良いと思います。完結してしまうと、次の人にバトンタッチで終わってしまい、そういうことが続かない。物が具体的にできると、人間は満足してしまいますが、それを運営していく、皆さん方のご協力と、今後も、大いに議論していくことが非常に大切だと思いますので、よろしく願いいたします。

(進行役)

- ・最後に、星先生にまとめていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

(星先生)

- ・私は、死ぬまでげんきでいれば最高だと思います。終末は家族で、在宅死を広げる方が良いと思います。「死ぬまで自分でトイレに行こう」といって下さった、荒井さんに皆さん大きな拍手をお願いします。
- ・近藤さんもすばらしかったです。「笑顔でげんきの輪」を広げるということでしたが、この場だけの活動で35万人を対応する事は無理だと思います。どのように対応していくか、ぜひ考えていただきたいと思います。近藤さんに皆さん大きな拍手をお願いします。
- ・小島さんの発表は、運動休養とも連携して、もっとニーズに合った教室を展開していこうということでしたが、おっしゃる通りだと思います。小島さんに皆さん大きな拍手をお願いします。
- ・富田さんの発表ですが、私はもっと子どもが豊かに生きることを応援していくべきだと思いますし、セーフティーネット、子どもを安心して子育て出来る環境が厳しくなったことが、子どもを生まなくなったのだと思います。私も子どもが3人いますが、一番困ったのは授業料です。実は、スウェーデンは大学院に行くと給料が月20万もらえます。授業料も無料です。病院の医療費も無料です。そういう国もあるということを、ぜひ視野に入れてください。もし、日本の授業料が無料であったら、私は、子どもが5人ぐらい欲しいと思います。安心して子育て出来る環境を提案された富田さんに、拍手をお願いします。
- ・渡邊さんの発表ですが、人は存在を認めてもらうことを望んでいます。カラオケでよいでしょう、野菜作りでもよいでしょう。人には特技がいっぱいありますので、いくら年をとっても、出番をつくっていくことが一番大切かと思います。三鷹市で、最も活性化したプロジェクトは商店街活性化でした。もうひとつが、健康部会で、余りに多いので2つに分けて部会を設置しました。自分たち商店街がどう活性できるかを前面に出してやられることに大賛成です。これも、人が早く死ぬと無理ですので、ぜひ、元気で長く生きていただきたい。渡邊さんに、大きな拍手をお願いします。
- ・上野さんの話ですが、歩くことの大事さをお話しして頂きましたが、外に出て、この目で見て、肌で感じる、会話がある、こういうことが私たちにとって大切かと思います。ぜひ、サテライトの元気づくり館を作られたら良いと思いました。上野さんに、大きな拍手をお願いします。
- ・会場からの討論からですが、すばらしい討論がたくさんありましたが、環境とリンクしようとか、実は健康の問題は、景観や住居の問題も山のように大きいのに、特に住居を健康と重ねていない。これは日本の弱さです。シックハウスもさることながら、木を大事にして、木のぬくもりの中での生活が大切なのに、合板に頼ってしまった。法隆寺だって木造で千何百年も経っているのに、なんで20年で木造を壊してしまうのですか。こんなことも含めて、ぜひ建築家の力も借りて、街の景観を考えていただきたい。これはとても大事だと思います。
- ・生涯学習、これも最高です。教育委員会ともぜひ連携いただきたい。
- ・行政はどことも同じで、縦割りですけれども、行政の垣根を越えた参画これも大事です。行政の職員も市民ですからね、市民の一人として、話し合うことが大切だと思いました。
- ・討論の中で、議員さんも参加されている。一人だけですか、三人、四人、。さすがですね。市民参画の成熟度合いを物語っていると思います。ぜひ、議員さん立ってください。選挙で勝てますよ。普通、議員さんなんて来ませんね、私はいつも言っているのですが、この議員さんに入れようと、それは市民の皆さんがきめる事ですが。すばらしいことだと思います。ぜひ、議員さんが頼んでください。意思決定は議会ですから。ぜひ大事にしてください。

- ・主催は、岡崎市と書いていない、これもすばらしい事だと思います。
 - ・私には期待していなかった。これから期待してください。
 - ・皆さん達が PFI で有名になって行くと必ず思うのですが、いろいろまた情報交換させていただいて、どうやったらうまくいったか、もし潰れたら、どうして失敗したのかを、私としては知りたい。
 - ・市には、有能な方がいっぱいいらっしゃるのですから、ぜひとも発掘してください。八百屋も銭湯も資源です、健康資源として位置づけていただきたい。私はこの会場のお話が、非常に身にしみました。
-
- ・三人の先生方からも、大変すばらしいコメントを頂きました。
 - ・安藤先生は、環境の大事さを強調していただきましたし、竹本先生は、行政の参画や調整の必要性、自然の大切さを話していただきました。久我先生のお話では、市民がモニターしていくということに、非常に共感を覚えました。ぜひ、市民がモニターすれば怖いものは無いと思います。3人の先生に大きな拍手をお願いいたします。
-
- ・こういったフォーラムで、議員さんも参加されて、こういった形が大事で、みんなの世代が、楽しく支えあって生きていくということが、街の健康づくりとして大切ではないかと思います。商店街だけでなく、街を愛する人が手を繋いでいくということが大切だと思います。皆さんの発表に大きな拍手をお願いいたします。
 - ・東京の早世は、足立区なのです。それが伸びたのです。50年間最下位だったのが、20番になったのです。なんででしょうか。私たちの自主グループによるものです。足立区の人口は70万ですから、私たちはあと1歳長生きすれば、2000億円のお金が足立区にくるといい続けたのです。だから、簡単に言うと早く死ぬって事です。年金が何で決まるかという所得です。平均所得で最下位の足立区が、20位になったのです。これは革命です。なぜ20位になったのでしょうか。ほとんどお金が無い区です。
 - ・それは、保健師が10年以上、一生懸命応援した自主グループです。街を花で飾るグループ、お祭りグループ、山に行くグループなど、発表会がありますが非常に盛り上がります。私は、日々の活動が人を健康にすると考えています。
 - ・もちろん仮設ですけど、これ以外に考えられません。自主グループが楽しければ続きます。
 - ・母子保健の受診率は95%といますが、年に一回しかも2時間です。子どもの母子健康診査もそんなに大事ですか。私はそう思いません。母子健診をカナダはやめてしまいました。育児不安をかきたてるだけです。それではどうしたかという、先ほど説明した育自(自分)です。
 - ・受診率95%も時間で割れば、保健センターのカバー率は0.025%です。それでは残りの99%は誰が面倒をみますか。それは、家族であり、友人であり、地域のおじいちゃんおばあちゃんと違いますか。これが自主グループの大事なところ。子育て自主グループを山のように作ってください。保健センターは意識改革はできるでしょうか、多分難しいと思います。
 - ・人の粗探しをする健康管理ではなく、人の良さを見つける健康管理を行わなければなりません。私たちは、育児グループの研究を行っていますが、大事な事は健診を行わない事です。大事な事は育児グループを作る事です。ぜひこれを大事にしてください。専門化をすごいと思う事は

やめて下さい。ほとんどの健康家はみのもんだです。大事なのは口コミです。その先生が本当にすごいのは口コミが大事です。

- ・それから、地域のレストランも魚屋さんも健康資源です。痴呆の患者も健康資源です。魚屋さんが三人集まれば、栄養士一人の力になるはずで、八百屋さんが三人集まれば、栄養士一人の力になるはずで、こういうにして街を作ることが大事です。どこのレストランに行ってもバランスの良い食事を提供している。銭湯も、人が集まる場はみんな健康資源です。
- ・イギリスで私がびっくりしたのは、痴呆の患者が小学校で先生をしています。昔の記憶は完璧だからです。教育委員会を通して、小学生が昔はどのようにアイロンをかけたのか質問します。痴呆の患者はそれに答えます。こういった機能が、げんき館にはありますか。
- ・世界の健康づくりと、日本の健康づくりには余りにも大きな格差があります。そういったことを、市民がもっと勉強しないと、新しい発想にはならないはずで。
- ・健康は建築ももちろんのこと、全ての分野で健康づくりを実施していただきたい。
- ・私は蘇我町の健康日本 21 の策定委員をやっております。私は、委員長に立候補して委員長になりました。私はこう言いました、骨密度検査も健康健診もやらない、わたしは女子高生とチークダンスをやりたいんだ、と。参加された皆さんに、大きな拍手をお願いいたします。
- ・最後に 3 つだけ提案いたします。ここの場だけでは無理です。サテライトをぜひ作ってください。環境部門をしっかりと入れてください。横断的に成果モニターの部会をぜひ作ってください。これが、皆さんの活動が活性化する前手条件です。もうひとつ忘れてはいけないのは、本日は新聞社を呼ぶべきでした。皆さんの活動を活字にして、どんどん情報発信してください。そうすると全国から注目されます。注目されるという事は、人が、がんばるということです。良い本が書ければ、印税が入ってきます。本日は、御清聴ありがとうございました。

閉会あいさつ

(幾田氏)

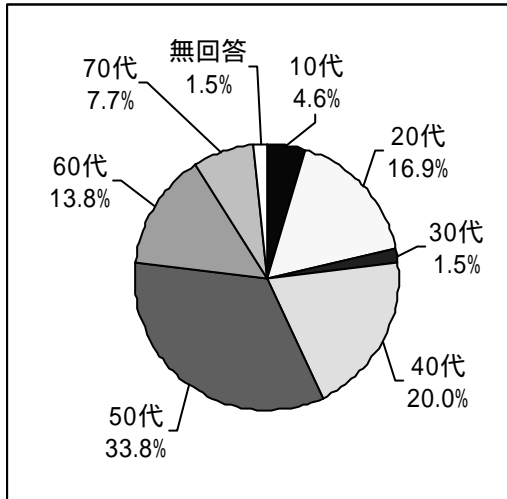
・本日は、星先生をはじめ、諸先生の貴重な御意見ありがとうございました。今後、平成 20 年の 3 月オープンを目指して、市民会議はずっと検討を続けてまいります。当初から申していますのは、星先生より激励いただきましたように、岡崎ならではのげんき館を建設したいということで、皆さんお仕事がある方も夜集まってがんばってきておりますが、これからは市民会議のメンバーだけでなく、市民の皆様、要望や提案をたくさんいただきまして、より大きいものにしていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。お忙しいところ、お集まりいただきましてありがとうございました。

(5) アンケート結果

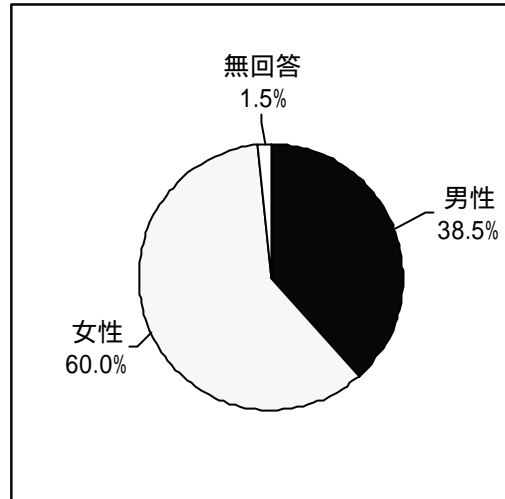
市民フォーラムの参加者 101 名（スタッフ、講演者、専門委員を除く）のうち、65 名からアンケートの回答を得ることができた。その結果は以下のとおりである。

回答者の属性

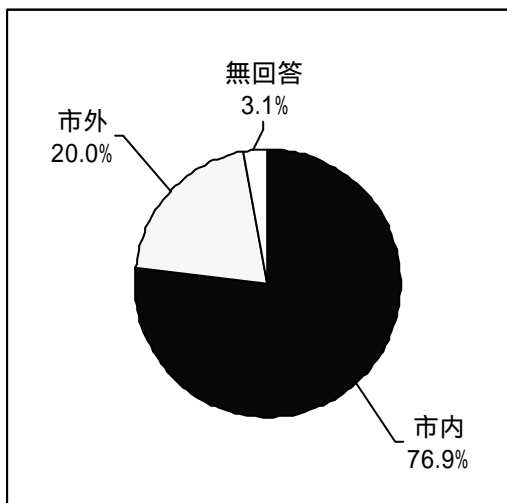
年齢 (Q1)



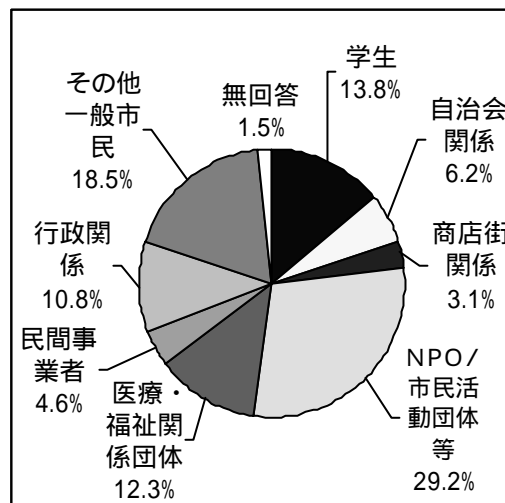
性別 (Q2)



居住地 (Q3)



主な所属先 (Q4)

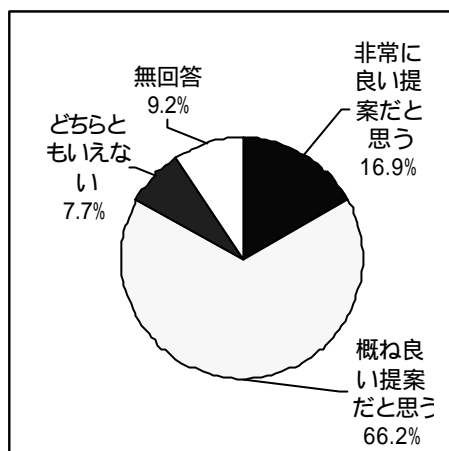
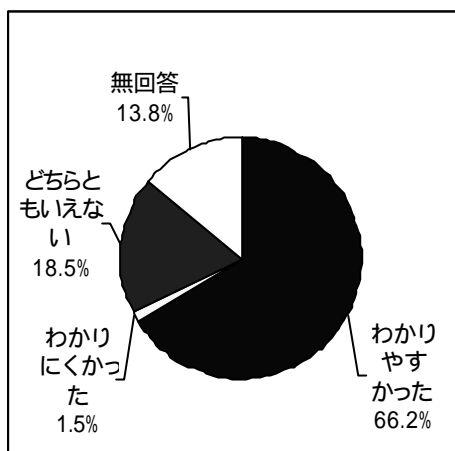


| | | | | | | | | |
|------|------|---|------|---|------|---|------|---|
| 岡崎市内 | 若宮町 | 5 | 井ノ口町 | 1 | 真宮町 | 1 | 百々町 | 1 |
| 計 50 | 明大寺町 | 3 | 稲熊町 | 1 | 仁木町 | 1 | 福岡町 | 1 |
| | 矢作町 | 3 | 宇頭北町 | 1 | 中岡崎町 | 1 | 蓬萊町 | 1 |
| | 井田町 | 2 | 岡町 | 1 | 中町 | 1 | 竜美ヶ丘 | 1 |
| | 栄町 | 2 | 鴨田南町 | 1 | 柱町 | 1 | 竜美丘 | 1 |
| | 元欠町 | 2 | 錦町 | 1 | 渡町 | 1 | 舩越町 | 1 |
| | 上地町 | 2 | 元能見町 | 1 | 東蔵前町 | 1 | 無回答 | 4 |
| | 洞町 | 2 | 根石町 | 1 | 藤川台町 | 1 | | |
| | 伊賀町 | 1 | 細川町 | 1 | 日名中町 | 1 | | |

| | | |
|------|------|---|
| 岡崎市外 | 名古屋市 | 3 |
| 計 13 | 豊田市 | 2 |
| | 安城市 | 1 |
| | 吉良町 | 1 |
| | 御津町 | 1 |
| | 春日井市 | 1 |
| | 足助町 | 1 |
| | 知立市 | 1 |
| | 無回答 | 2 |

市民提案書について

市民提案の内容について (Q9、Q10)

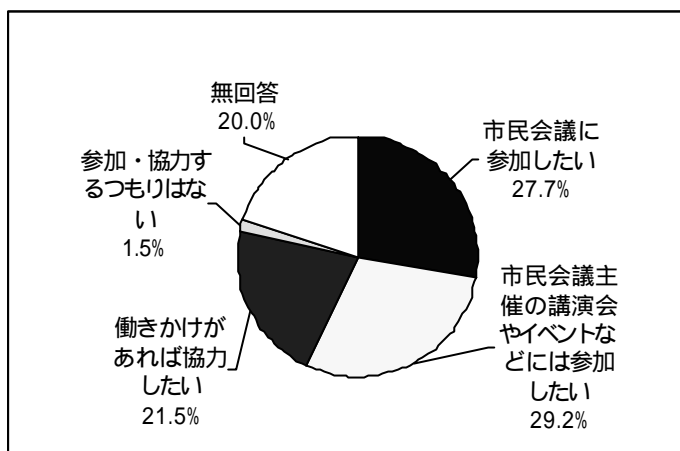


市民提案書に関する意見 (Q11)

| 意見 |
|--|
| 言うだけでなく、どう関わり、自ら動くか、そしてさらに輪を広げるか、運営してからが勝負。 |
| 意見、提案は素晴らしいが、それを現実どう実行していくか問題。総合プロデューサーが必要とのことだが、それはボランティア(無償)レベルではムリでしょう。ヤリガイとかは収入にも関連するので。星先生のお話の中にある“高齢者も働いて、収入を！ヨメに通帳渡すな！”は人間収入のともなうことにやりがいと前向きになれるものです。 |
| 交通や環境作りはやはり市民と行政が考えなければなりませんので、市ももっと多く参加してほしいです。 |
| 心のサポートができると思います。 |
| 来させる事から始まるから、無料の食事券を市民に配布する。 |
| 子供課という提案はいいと思います。 |
| 質問にあったように責任の所在(中心となる組織)をしっかり決め、それぞれの立場の方々の想いを調整することが大切。さらに他の施設との連携を十分とって、点と点を線で結んでほしいと思う。 |
| ぜひ取り入れて実現をしてほしい。 |
| 専門分野の人が支えなければ、元気館は元気がなくなる。もう少し市の参加熱意を知りたかった。市の協力がどれ位のものか不明ですので、市の態度を明らかにして欲しい。 |
| 提案を運営業者にどのように反映するのか。東京から大手の業者が運営した場合でも反映できるのか。 |
| 内容をおかざき等で市民に知らせて下さい。 |
| 一つでも多くの提案を実現させて下さい。 |
| 人を集める方法、ホームニュース、三河版中日に載せたらどうか。 |
| 星先生のお話で環境が大事だと言われましたので、今後考えていくといいですね。 |
| 本来もっと意見が出て良いのでは？ |
| 身近に感じなかった。1年間参加したけど、まだまだ実感できない。 |
| ゆっくり家に帰って読みます。 |

市民会議について

(仮称)岡崎げんき館市民会議に参加してみたいですか？(Q12)

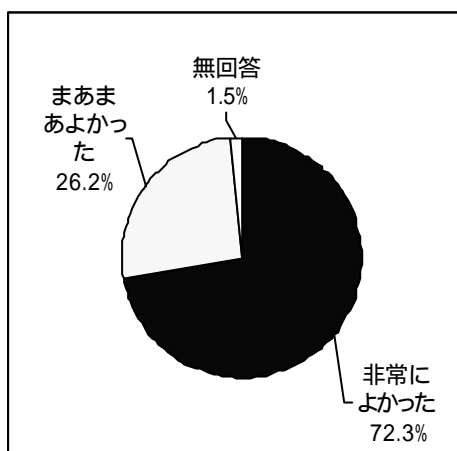


今後の市民会議の活動に期待すること(Q14)

| 意見 |
|---|
| ・なるべく市民としての意見をまとめて欲しい。 ・一般の方がもっと興味を持ってくれるようPRして意見をまとめられるとよい。 |
| Net workづくり(各種団体) 文科省と厚労省のかきねを取った子供のための支援づくり |
| 多くの意見を取り入れてPFIがひとり歩きしない様に指定いただきたい。 |
| 多くの市民に呼びかけ、一部の市民のメリットだけにとらわれず、真の岡崎市民の健康について考えて欲しい。20年後、30年後の岡崎市を念頭において。 |
| 環境が大切と思いました。今後そちらを考えた話し合いになると良い。 |
| 感情や雰囲気にならず、星先生の話しをくんで、取組んで欲しい。 |
| 行政として予算をかけてやる所を効果を含めて考えて下さい。 |
| 行政やPFIにどんどん意見を言って、市民の要望をしっかりと伝え、実現して下さい。他の施設、団体とのネットワークをとって下さい。 |
| グループごとの意見交換をし、関連をもたせるようにしたい。 |
| 元気館が市民主導で形づくられることを切望します。日本でも誇れる市民主導の施設ができる事を願います。 |
| 参画する団体を増やして行きたい |
| 実施するのであれば、市(担当課)は誠意を見せて欲しい。 |
| 市民参加型のグループ作りが大切であると思います。グループ間のつながりがあまりない気がしますので、つながりあるグループづくりをお願いします。 |
| すぐ即答は出来ないもので、郵便で送るようにしたら如何か(封書で送る事) |
| すっきりとはやく具体案を出して欲しい。 |
| 青少年の居場所を作って欲しい |
| だれでも気軽に楽しく参加できる場(げんき館)であってほしいです。 |
| 提案から実現への積極的展開 |
| 星先生の考えをふまえて。 |
| やりがいと達成感が参加者に共有できるよう頑張ってください。 |
| より市民のための施設になるように。 |

基調講演について

基調講演についていかがでしたか？（Q6）



基調講演の感想（Q7）

| 意見 |
|--|
| （PHN として考えると）極論のような気がするが。あきない話し方でよかった。 |
| 「死亡率が高い」ということが、いちがいに悪いことではないなど、一般と違う角度からの意見を聞くことができて良かったです。 |
| 「長生きして、年金 1 億円」 |
| 「目からうるこが落ちる」のごとく、大変気持ちが楽しく明るく生活できる気がしました。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・健康についての認識が変わった。 ・健康 21 とはまた違った角度から、大変勉強になった。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・データで裏打ちされた理論が分かりやすい。みんな、なんとなくは知ってたこともデータがあると信頼が強くなる。 ・ストレートな表現が納得しやすい。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすく、飽きなかった。 ・ぜひ今回のような少人数でなく、大人数に聞いて QOC を高めるとよいと思う。 |
| EBM に基づく考え方を聴けたこと。元気に老後を過ごす因子についての考え方を行政に影響を与える事ができるだろう。これで小泉内閣が変わればうれしい。 |
| NNK、PPK、今までにない型の講演で、参考になる。大変刺激的。 |
| 生きがい勉強する事が一番健康になるという所 |
| 栄養、運動、休養だけでなく自然を大切にする等、長寿の考え、寝たきりではいけない PPK でありたいと思います。 |
| 環境の大切さを再認識 |
| ワークショップといった形の進め方への期待 |
| ユニークで切れ味のよいお話に感激しました。 |

| 意見 |
|--|
| これからの自分の生き方を教えてもらったような気がする。 |
| 自然とともに生きる大切さ。ホスピスの大切さ。いきいきと生きる。 |
| 自然と仲よくすることが大事。 |
| 市民、地域の人を巻き込んで、力を合わせて社会参画。嫁に～を渡すな。先生の言葉が良かった。時々見せて下さる景色はとっておきの絵でしたね。これぞリラクゼーションですね。 |
| 主訴が分かりやすかった。 |
| 生涯現役のためには、地域支援、生涯学習、交流が大事という事が確認できたことが良かったです。もっとゆっくりじっくり聞きたかったです。 |
| 生涯現役を目指して、楽しく生きていけそうです。日々、思っていることと同感、元気になりました。 |
| シンプルでわかりやすい |
| 先駆的な意見。行政に反映させたい。 |
| 先生のお話がとても良かったのですが、時間が短かったのが残念でした。 |
| 大変おもしろい話でした。ためになる事が多かった。環境についてもっと考えたい。 |
| データ-に基づく話で良く分かった。 |
| データ利用、テンポ、印象、笑い |
| 手元に資料がほしかったと思います。 |
| とても専門的な研究内容でありながら、具体的に分かりやすく、おもしろく伝えていただきました。 |
| 長生きするための条件を楽しく聞けた |
| パソコンを駆使して、文字、データと言葉で説得力のあるすばらしい講演でした。データやお考えなど記録したいことが沢山あり、記録し切れなかった。インターネットで見たいと思う。 |
| 話がおもしろかったです。でもその中には重要な所もあって勉強になりました。 |
| 話し方、データに基づく内容だったこと。 |
| 広い視野、意識改革させられました。 |
| 豊富な資料をもとに楽しく興味あるお話しでした。 |
| 星先生の講演をもっとくわしく聞きたいと思います。 |
| まちづくりと住民の元気だと思える気持ちづくり げんき館でサポートしていきたいと思えます。 |
| 難しい話、データ-をわかりやすくだれもが興味をもてるよう聞けたこと。 |
| 分かりやすく、楽しく聞きました。ユーモアがあっても先生は笑顔がなかった。笑顔は大事です。 |

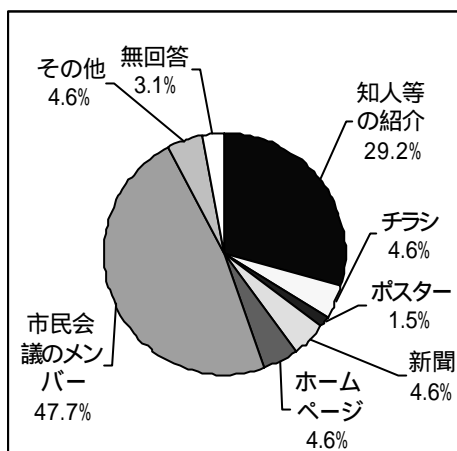
| 意見 |
|--|
| 目から“うるこ”という感じでした。とても楽しくわかりやすく“口紅”“化粧”“みだしなみ”で年金1億円を目標にして行きたい。今日学んだ事を伝えていきたいと思いました。 |
| もう少し大きな声でハッキリお話していただきたかった。席が後ろの方で、よく聞きとれない部分がありました。 |
| もっと難しいものかと思っていましたが、生活に密着したお話も聞けてよかったです。やはり、長生きのためには環境や気持ちの持ち方等が重要だと私も思いました。 |
| 良い講演であったが、ことばの聞き取りづらい所があり私の耳？かも知れないが、聞き取りやすさがあると良い。 |
| 予防医療へのシフトの事、寿命に関するデータ紹介と解説。 |
| 分かりやすく、楽しく聞けた、自然、水、空気、環境大事。 |
| 聞きとれないところがあったので残念だった。 |
| 現在の健康問題を逆の面から視点をあて、興味深くお聴きすることが出来ました。資料内容、話術とも素晴らしいと思いました。 |
| 高齢者にとって外に出る事によって、楽しい、そんな気持ちももてるのが大切といていた。これはげんき館にもつながるので、高齢者がげんき館が目的で行き来してもらえるようになるといいと思います。 |
| 講演の内容がわかりやすく、今後の生活の参考になりました。 |
| 小太りの方が長生きする。など私たちが思っている健康に対する知識のなさを教えてくれたところ。 |

次回の講演会で聞きたいテーマ (Q8)

| 意見 |
|---|
| PFI と市民会議との関係 |
| 「失敗しない施設づくり」について |
| John Gathlight 氏に Tree bonse の話はおもしろそうです。 |
| 美しく年を重ねる方法 |
| 同じ人 |
| 健康、遊びを重点に話してほしい。 |
| 子どもメディア研究所の方のお話 |
| 今回はどちらかというと高齢者中心のお話だったので、次回は子どもに関するもの(子育て、教育等)のお話も聞きたいです。 |
| 福島大学教授 飯田史彦さんの「生きがい論」歌もいいです。安保徹さん「免疫革命」。西本真司 Dr. 「代替療法の取り組み」(難病体験記、笑気功・歌・腕ふり・爪もみなど)。越智啓子 Dr. 「人生のしくみ」。昇 Dr. 「笑い療法」。恒川 Dr. 「代替療法」。船戸クリニック Dr. 「看取りの看護、在宅介護」。 |
| 講演ではなく体験したい |

参加のきっかけについて

市民フォーラムに参加したきっかけは？（Q5）



自由意見

| 意見 |
|--|
| げんき館について、他の自治体と比べてもとても先進的な取り組みだと思います。とても期待しています。 |
| 公共施設のような堅苦しいものにならないように。 |
| 市民の生の声を届け、活性化できるように、うまくまとめていってほしい。 |
| 提案書の内容が実行されるように願います。 |
| 話の中に元気館回りの地域だけが見えて、岡崎全体像がまったく見られない気がしました。かたよった考え方を持った人達の集りのような話をされたりする事は避けて欲しいし、講演された星先生の話しを一部でも取り入れて下さいますようお願い致します。 |
| 市の職員（市長？）の参加が少ない？気がしました。グループ代表者の方が1人で話しすぎて他の市民の質問時間が少なくなった。 |
| 家が遠いけれど、4月3日吉村正さんの医学の話を聞きに来たい。 |
| イベントの物の仕入れを出来るかぎり若宮の商店を活用。どういう商店があるのか知りたい。 |
| ホームページは現代ですが、まだアナログの私にはどの様に見守ることが出来るのでしょうか。 |
| まずは来る4月3日の岡崎げんきまつりを大成功に終わらせたいと思って降ります。 |

集計表

Q回答者の年齢は？

| 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 無回答 | 総計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 3 | 11 | 1 | 13 | 22 | 9 | 5 | 1 | 65 |

Q回答者の性別は？

| 男性 | 女性 | 無回答 | 総計 |
|----|----|-----|----|
| 25 | 39 | 1 | 65 |

Q回答者の居住地は？

| 市内 | 市外 | 無回答 | 総計 |
|----|----|-----|----|
| 50 | 13 | 2 | 65 |

Q回答者の主な所属先は？

| 学生 | 自治会関係 | 商店街関係 | NPO/市民活動団体等 | 医療・福祉関係団体 | 民間事業者 | 行政関係 | その他一般市民 | 無回答 | 総計 |
|----|-------|-------|-------------|-----------|-------|------|---------|-----|----|
| 9 | 4 | 2 | 19 | 8 | 3 | 7 | 12 | 1 | 65 |

Q市民提案書はわかりやすい内容でしたか？

| わかりやすかった | わかりにくかった | どちらともいえない | 無回答 | 総計 |
|----------|----------|-----------|-----|----|
| 43 | 1 | 12 | 9 | 65 |

Q市民提案書の内容をどのように思いましたか

| 非常に良い提案だと思う | 概ね良い提案だと思う | どちらともいえない | 無回答 | 総計 |
|-------------|------------|-----------|-----|----|
| 11 | 43 | 5 | 6 | 65 |

Q(仮称)岡崎げんき館市民会議に参加してみたいですか？

| 市民会議に参加したい | 市民会議主催の講演会やイベントなどには参加したい | 働きかけがあれば協力したい | 参加・協力するつもりはない | 無回答 | 総計 |
|------------|--------------------------|---------------|---------------|-----|----|
| 18 | 19 | 14 | 1 | 13 | 65 |

Q基調講演はいかがでしたか？

| 非常に良かった | まあまあ良かった | 無回答 | 総計 |
|---------|----------|-----|----|
| 47 | 17 | 1 | 65 |

Q市民フォーラムに参加したきっかけは？

| 知人等の紹介 | チラシ | ポスター | 新聞 | ホームページ | 市民会議のメンバー | その他 | 無回答 | 総計 |
|--------|-----|------|----|--------|-----------|-----|-----|----|
| 19 | 3 | 1 | 3 | 3 | 31 | 3 | 2 | 65 |